

災害発生時・災害が発生する恐れがある時は
防災放送でお知らせ します！

しかし、昨今頻発するバケツをひっくり返したような激しい雨や強い風が伴う大雨の際は、雨音や風などの外的要因で放送音声がかき消され聞こえない場合があります。



町では防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したいなどのご意見をいただき、

防災放送確認ダイヤルサービス

を **開設** しています。

このダイヤルは定時（正午や夕方6時のチャイム、メロディなど）放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル ☎

0237-48-8444

情報伝達の多重化が
重要視されています

町公式LINEやメール配信サービス、
Yahoo! 防災速報に登録すれば
 町外にいても**災害情報**を受け取れる!!

Yahoo! 防災速報



町公式LINE



メール配信サービス



← 次のページでは登録方法をご紹介します！

日ごろの備えが 家族を守る



PASCO
 Saving the Earth to Create the Future

2020年7月29日（水）撮影：株式会社ハスコ / 国際航空株式会社
 令和2年7月豪雨災害（山形県）

過去の災害を知り、次に備える

令和2年7月豪雨では、最上川の水位（大石田観測所）が観測史上最高となる18・59メートルを記録しました。これは、未曾有の大災害となった昭和42年の羽越水害で記録した16・87メートルを1・72メートルも上回るものでした。早めの避難行動で人的被害はなかったものの、住宅被害は床上・床下浸水を合わせて98棟に上りました。また、豊田地区にある上水道水源場が冠水したこと、次子地区を除く町内全域で4日間に渡る断水が発生しました。私たちは過去の水害から学び、明日起こるかもしれない水害に備えなければなりません。今回は、今日からできる災害への備えを「自助」にスポットを当ててご紹介いたします。



災害を伝える

7/4~7/15 巡回パネル展「令和2年7月豪雨から2年」

◆開催日時／
 7月4日(月)～15日(金)
 午前8時30分～
 午後5時15分

◆場 所／
 虹のプラザ1階
 「エントランス」

「次に備える」ためには、過去の災害を知ることが大事です。最上川流域治水協議会では、山形県の風水害として過去最大の被害となった令和2年7月豪雨の教訓を活かし、今後の災害に備えるため、巡回パネル展を開催しています。昨年は、豪雨から1年が経過することを踏まえ、「忘れない、水害への備え」をテーマに、令和2年7月豪雨から1年をテーマに、特に被害が大きかった大石田町や尾花沢市、大蔵村などを会場にパネル展を開催しました。洪水被害の写真のほか、水防・救助活動、災害復旧工事、そして「氾濫を防ぐ」「減らす」ためのこれからの対策の考え方を追加し、パネル展を開催します。ぜひご覧ください。